

平成30年度質問紙調査について

1. 基本方針

- 調査項目は、教科に関する調査と併せて学力や学力の規定要因を把握・分析する観点から検討。
- 児童生徒や学校の負担を考慮し、調査項目は真に必要なものに厳選。学力調査開始当初と比べ質問数が増加したことから、10年間の回答状況等も踏まえ、質問項目を整理・精選。
- 具体的には、教育振興基本計画の成果指標等に位置づけられているものを毎年の質問項目とし、その他の項目は、必要に応じて数年おきに定期的に質問項目とすることで、全体の項目数を整理・削減。
- 一方で、新学習指導要領の趣旨等を踏まえて、新たに必要な質問項目を追加するとともに、既存の質問についても、文言の適切性の観点より見直し。

2. 質問紙項目の主なテーマについて

○ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

【児童生徒：3項目（うち新規1項目）】

- ・5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか。 等

【学校：4項目（うち新規1項目）】

- ・調査対象学年の児童〔生徒〕は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。 等

○ カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況

【学校：7項目（うち新規1項目）】

- ・指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか。
- ・学校として業務改善に取り組んでいますか。 等

○ 教職員の資質能力の向上に関する状況

【学校：10項目（うち修正1項目）】

- ・校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか。
- ・校長は、校内の授業をどの程度見回っていますか。 等

○ 理科に関する状況

【児童生徒：17項目（うち新規3項目、復活14項目）】

- ・理科の勉強は好きですか。 等

【学校：10項目（うち新規1項目、復活9項目）】

- ・調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の授業において、前年度に、児童〔生徒〕の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか。 等

○ 児童生徒の規範意識、自己有用感等

【児童生徒：6項目】

- ・自分には、よいところがあると思いますか。 等

【学校：6項目（うち修正1項目）】

- ・調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。 等

○ 地域や社会との連携に関する状況

【児童生徒：8項目】

- ・5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。 等

【学校：12項目（うち新規4項目、修正2項目）】

- ・教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。 等

○ ICTを活用した学習状況（新規）

【学校：2項目】

- ・調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。
- ・調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導において、前年度に、児童〔生徒〕がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか。

3. 項目数

○ 児童生徒質問紙調査項目

小学校62項目（前年度92項目）

中学校59項目（前年度94項目）

○ 学校質問紙調査項目

小学校84項目（前年度111項目）

中学校81項目（前年度109項目）